



看護学科

吉村 基宜 助教

【研究分野】 専門職連携

【キーワード】 専門職連携教育、多職種連携教育、尺度

【URL】 https://www.jstage.jst.go.jp/article/spujhcs/8/0/8_1/_article/-char/ja/

研究概要

近年、保健医療福祉の多様なニーズに対応していくために、各専門職の専門性だけでなく、職種間連携の重要性が増しています。しかし、IPEは発展途上であり、特に、評価研究においてはその実証性が課題として挙げられています。現在IPEの評価方法は様々であり、各教育機関の実情に合わせて独自に行われているものが多いです。そこで、汎用性の高い評価尺度を開発し、IPEプログラムの客観的な評価指標としての活用や、教育プログラムの改善を目的に研究に取り組んでいます。

研究紹介

既存の尺度や先行研究を参考に、IPEに必要とされる技術や態度、コンピテンシー等において共通する要素について検討し、5つの下位尺度と24の質問項目から構成されるIPE評価尺度（原案）を作成しました。※調査項目の詳細は上記URLの本研究の文献よりご覧になれます。

IPE評価尺度を用いて本学の学生を対象に調査・分析を行ったところ、下記の3因子11項目が抽出されました。今後は、この結果を元に更なる検討を重ねて、尺度の精錬を図っていこうと考えております。

第1因子：協働的能力

第2因子：提言力

第3因子：組織形成力

		(N=367)			
		因子負荷量			
		1	2	3	
		$\alpha = .781$	$\alpha = .782$	$\alpha = .771$	
因子名	質問項目	因子分析前 下位尺度			
〔第1因子〕 協働的能力	他者に興味・関心を持つことができる	コミュニケーション	0.776	-0.154	0.019
	チーム活動に意欲的に参加することができる	協働的能力	0.645	0.112	0.026
	チームメンバーが集めた情報をメンバーと共有することができる	協働的能力	0.628	0.157	0.005
	チーム活動を通して、自分と他者の価値観の違いに気づくことができる	リフレクション	0.564	0.062	0.013
〔第2因子〕 提言力	自分の考えを分かりやすく伝えることができる	コミュニケーション	-0.212	0.823	0.152
	自分の体験、考えを振り返り、言語化できる	リフレクション	0.126	0.747	-0.16
	課題解決に向けて、具体的な方法をチーム全体で検討することができる	協働的能力	0.246	0.563	0.023
	自分の意見を述べることができる	コミュニケーション	0.092	0.425	0.091
〔第3因子〕 組織形成力	他者の考えを引き出す関わりができる	コミュニケーション	-0.01	-0.033	0.850
	チームが形成されていくプロセスを自分で振り返ることができる	リフレクション	-0.067	0.135	0.672
	他者の気持ちをくみ取ることができる	コミュニケーション	0.241	-0.073	0.568
<因子間相関>		第1因子	第2因子	第3因子	
		0.649	—	—	
		0.530	0.589	—	
		尺度全体 $\alpha = .870$			

講座テーマ紹介

・専門職連携に関連した講座「チームについて考える」

アピールポイントなど

【文献】

・吉村基宜, 田口孝行, 常盤文枝. 保健医療福祉系大学における専門職連携教育 (IPE) 評価尺度の作成. 保健医療福祉科学. 2019; 8 : 1-9.

【科研費】

・基盤研究C 専門職連携教育 (IPE) 評価尺度の因子構造および信頼性・妥当性の検討 (研究代表者)

【所属学会】

・日本保健医療福祉連携教育学会